

貸借対照表

平成31年3月31日現在

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1 流動資産			
現 金	75,289	8,362	66,927
預 金	7,680,952	3,220,826	4,460,126
有価証券	1,221,415	1,275,262	△ 53,847
仮 払 金	20,214	24,114	△ 3,900
流動資産合計	8,997,870	4,528,564	4,469,306
2 固定資産			
(1) 特定資産			
実施事業等引当資産	23,111,314	34,837,704	△ 11,726,390
役員退職慰労金引当資産	3,600,000	3,600,000	0
職員退職給付引当資産	1,232,000	885,000	347,000
特定資産合計	27,943,314	39,322,704	△ 11,379,390
(2) その他の固定資産			
土 地	0	946,000	△ 946,000
建 物	0	3	△ 3
構 築 物	0	1,525,599	△ 1,525,599
什器・備品	5,274	28,017	△ 22,743
その他の固定資産合計	5,274	2,499,619	△ 2,494,345
固定資産合計	27,948,588	41,822,323	△ 13,873,735
資産合計	36,946,458	46,350,887	△ 9,404,429
II 負債の部			
1 流動負債			
未 払 金	167,328	101,028	66,300
預 り 金	33,330	37,479	△ 4,149
流動負債合計	200,658	138,507	62,151
2 固定負債			
役員退職慰労引当金	3,600,000	3,600,000	0
職員退職給付引当金	1,232,000	885,000	347,000
固定負債合計	4,832,000	4,485,000	347,000
負債合計	5,032,658	4,623,507	409,151
III 正味財産の部			
1 指定正味財産	23,111,314	34,837,704	△ 11,726,390
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(23,111,314)	(34,837,704)	(△ 11,726,390)
2 一般正味財産	8,802,486	6,889,676	1,912,810
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	31,913,800	41,727,380	△ 9,813,580
負債及び正味財産合計	36,946,458	46,350,887	△ 9,404,429

正味財産増減計算書

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位 円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	374,198	359,993	14,205
② 受取会費			
賛助会員受取会費	0	0	0
③ 事業収益			
受託事業収益	0	0	0
④ 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金振替額	11,731,390	11,868,041	△ 136,651
⑤ 雑収益			
有価証券運用益	232,428	232,428	0
雑収益	70,182	53,026	17,156
経常収益計	12,408,198	12,513,488	△ 105,290
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	3,990,605	3,990,605	0
給与手当	1,107,348	2,002,148	△ 894,800
臨時雇賃金	0	5,000	△ 5,000
役員退職慰労費用	0	0	0
職員退職給付費用	208,200	136,249	71,951
福利厚生費	12,115	167,025	△ 154,910
会議費	38,558	83,873	△ 45,315
交際費	12,860	32,195	△ 19,335
旅費交通費	1,322,326	1,349,071	△ 26,745
通信運搬費	141,131	141,047	84
減価償却費	975	52,477	△ 51,502
什器備品費	198,170	0	198,170
消耗品費	1,072,401	1,025,540	46,861
修繕費	0	9,148	△ 9,148
印刷費	1,440,288	338,467	1,101,821
水道光熱費	92,390	107,691	△ 15,301
賃借料	1,693,734	1,606,456	87,278
損害保険料	3,759	3,912	△ 153
諸謝金	109,665	115,234	△ 5,569
租税公課	29,400	0	29,400
支払助成金	300,000	600,000	△ 300,000
諸会費	0	11,080	△ 11,080
雑費	42,262	130,297	△ 88,035
管理費			
役員報酬	394,675	394,675	0
給与手当	738,232	839,154	△ 100,922

科 目	当年度	前年度	増 減
役員退職慰労費用	0	0	0
職員退職給付費用	138,800	55,651	83,149
福利厚生費	4,256	68,221	△ 63,965
会議費	44,349	45,087	△ 738
交際費	10,000	66,200	△ 56,200
旅費交通費	95,210	70,430	24,780
通信運搬費	42,581	40,194	2,387
減価償却費	343	685	△ 342
什器備品費	24,654	0	24,654
消耗品費	17,745	16,059	1,686
修繕費	0	2,732	△ 2,732
水道光熱費	32,461	32,167	294
賃借料	528,690	467,688	61,002
損害保険料	1,321	1,168	153
租税公課	27,060	42,380	△ 15,320
諸会費	6,080	0	6,080
雑費	36,922	21,121	15,801
有価証券評価損	53,847	253,735	△ 199,888
経常費用計	14,013,413	14,324,862	△ 311,449
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,605,215	△ 1,811,374	206,159
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,605,215	△ 1,811,374	206,159
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益	3,282,748	0	3,282,748
投資有価証券売却益	320,000	0	320,000
経常外収益計	3,602,748	0	3,602,748
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	21,423	0	21,423
実施事業等引当資産振替額	5,000	0	5,000
経常外費用計	26,423	0	26,423
当期経常外増減額	3,576,325	0	3,576,325
税引前当期一般正味財産増減額	1,971,110	△ 1,811,374	3,782,484
法人税・住民税	58,300	100,000	△ 41,700
当期一般正味財産増減額	1,912,810	△ 1,911,374	3,824,184
一般正味財産期首残高	6,889,676	8,801,050	△ 1,911,374
一般正味財産期末残高	8,802,486	6,889,676	1,912,810
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産からの振替額	5,000	0	5,000
一般正味財産への振替額	11,731,390	11,868,041	△ 136,651
当期指定正味財産増減額	△ 11,726,390	△ 11,868,041	141,651
指定正味財産期首残高	34,837,704	46,705,745	△ 11,868,041
指定正味財産期末残高	23,111,314	34,837,704	△ 11,726,390
III 正味財産期末残高	31,913,800	41,727,380	△ 9,813,580

収支計算書(損益ベース)

(平成30年4月1日から平成31年3月31日まで)

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 特定資産運用益			
特定資産受取利息	339,000	374,198	△ 35,198
② 受取会費			
賛助会員受取会費	0	0	0
③ 事業収益			
受託事業収益	0	0	0
④ 受取寄付金			
受取寄付金	0	0	0
受取寄付金振替額	10,917,000	11,731,390	△ 814,390
⑤ 雑収益			
有価証券運用益	232,000	232,428	△ 428
雑収益	55,000	70,182	△ 15,182
経常収益計	11,543,000	12,408,198	△ 865,198
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	3,991,000	3,990,605	395
給与手当	1,079,000	1,107,348	△ 28,348
臨時雇賃金	0	0	0
役員退職慰労費用	0	0	0
職員退職給付費用	166,000	208,200	△ 42,200
福利厚生費	34,000	12,115	21,885
会議費	139,000	38,558	100,442
交際費	30,000	12,860	17,140
旅費交通費	1,110,000	1,322,326	△ 212,326
通信運搬費	193,000	141,131	51,869
減価償却費	51,000	975	50,025
什器備品費	0	198,170	△ 198,170
消耗品費	845,000	1,072,401	△ 227,401
修繕費	0	0	0
印刷費	1,190,000	1,440,288	△ 250,288
水道光熱費	114,000	92,390	21,610
賃借料	1,545,000	1,693,734	△ 148,734
損害保険料	4,000	3,759	241
諸謝金	105,000	109,665	△ 4,665
租税公課	0	29,400	△ 29,400
支払助成金	300,000	300,000	0
諸会費	16,000	0	16,000
雑費	70,000	42,262	27,738
管理費			
役員報酬	395,000	394,675	325
給与手当	719,000	738,232	△ 19,232

科 目	予算額	決算額	差 異
役員退職慰労費用	0	0	0
職員退職給付費用	110,000	138,800	△ 28,800
福利厚生費	11,000	4,256	6,744
会議費	17,000	44,349	△ 27,349
交際費	30,000	10,000	20,000
旅費交通費	54,000	95,210	△ 41,210
通信運搬費	31,000	42,581	△ 11,581
減価償却費	0	343	△ 343
什器備品費	0	24,654	△ 24,654
消耗品費	14,000	17,745	△ 3,745
修繕費	0	0	0
水道光熱費	36,000	32,461	3,539
賃借料	488,000	528,690	△ 40,690
損害保険料	1,000	1,321	△ 321
租税公課	45,000	27,060	17,940
諸会費	0	6,080	△ 6,080
雑費	21,000	36,922	△ 15,922
有価証券評価損	0	53,847	△ 53,847
経常費用計	12,954,000	14,013,413	△ 1,059,413
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,411,000	△ 1,605,215	194,215
基本財産評価損益等	0	0	0
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 1,411,000	△ 1,605,215	194,215
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
固定資産売却益		3,282,748	△ 3,282,748
投資有価証券売却益		320,000	△ 320,000
経常外収益計	0	3,602,748	△ 3,602,748
(2) 経常外費用			
固定資産除却損	0	21,423	△ 21,423
実施事業等引当資産振替額	0	5,000	△ 5,000
経常外費用計	0	26,423	△ 26,423
当期経常外増減額	0	3,576,325	△ 3,576,325
税引前当期一般正味財産増減額	△ 1,411,000	1,971,110	△ 3,382,110
法人税・住民税	100,000	58,300	41,700
当期一般正味財産増減額	△ 1,511,000	1,912,810	△ 3,423,810
一般正味財産期首残高	7,454,000	6,889,676	564,324
一般正味財産期末残高	5,943,000	8,802,486	△ 2,859,486
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産からの振替額	0	5,000	△ 5,000
一般正味財産への振替額	10,917,000	11,731,390	△ 814,390
当期指定正味財産増減額	△ 10,917,000	△ 11,726,390	809,390
指定正味財産期首残高	34,247,000	34,837,704	△ 590,704
指定正味財産期末残高	23,330,000	23,111,314	218,686
III 正味財産期末残高	29,273,000	31,913,800	△ 2,640,800

計算書類の注記

1. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

満期保有目的の債券は、取得価額で計上している。

その他の有価証券は、期末時の市場価格に基づく時価法によっている。

(2) 固定資産の減価償却の方法

定額法による減価償却を実施している。

(3) 引当金の計上基準

職員退職給付引当金は、職員の期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

役員退職慰労引当金は、役員の退職慰労金の支給に備えるため、期末要支給額を計上している。

(4) 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及び残高は、次の通りである。

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
実施事業等引当資産	34,837,704	5,000	11,731,390	23,111,314
役員退職慰労金引当資産	3,600,000	0	0	3,600,000
職員退職給付引当資産	885,000	347,000	0	1,232,000
合 計	39,322,704	352,000	11,731,390	27,943,314

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次の通りである。

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する充当額)
特定資産				
実施事業等引当資産	23,111,314	(23,111,314)	(0)	(0)
役員退職慰労金引当資産	3,600,000	(0)	(0)	(3,600,000)
職員退職給付引当資産	1,232,000	(0)	(0)	(1,232,000)
合 計	27,943,314	(23,111,314)	(0)	(4,832,000)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次の通りである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器・備品	131,840	126,566	5,274
合 計	131,840	126,566	5,274

5. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

内 容	金 額
特定資産(実施事業等引当資産)の取崩による振替額	11,731,390

6. 実施事業引当資産について

移行認可申請時の実施事業資産の内、東日本大震災にて損害を受けた財産については特別損失として除却処分した。また、実施事業等支出資産として金融資産を計上している。